

大阪産(もん)認定の「イチビリコーラ」

(株)デジタルアックス(大阪市、高橋克己社長)は、原材料に大阪府産の食材を使用した大阪発のクラフトコーラ「イチビリコーラ」を、昨年9月から発売している。

「イチビリコーラ」は、大阪で育まれた素材を配合した完全無添加のクラフトコーラで、大阪府産のレモン、いちじく、蜂蜜を使用し、厳選したスパイス類と果汁を絶妙に調合して作りあげた奥深い味わいの特徴。辛みの強いハラペーニョ(メキシコ原産の青唐辛子の一種)を配合した引き締まった味の赤ラベルと、柑橘類の果汁をふんだんに使用して爽やかな味に仕上げた緑ラベルの2種類のクラフトコーラがある。炭酸水で5

倍以上希釈して飲むのが一般的だが、牛乳で割ってもおいしい。

「イチビリコーラ」は、大阪府から大阪産(もん)の認証を受けたクラフトコーラで、「大阪産(もん)」とは大阪府域で栽培・生産される農産物、畜産物、水産物と、それらを原材料として使用した加工品のこと。販路はネット販売が中心で、大阪のご当地商品を扱う土産物店などにも卸している。扱いはまだ少ないが、和泉市のふるさと納税にも参加。昨年11月よりBリーグ所属のプロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」

の公式アイテムとして販売を開始。また、今年3月の大相撲大阪場所では、優勝力士の霧馬山に大阪知事賞の副賞として「イチビリコーラ」72本が贈呈された。



▲大阪エヴェッサのオリジナルラベル

りBリーグ所属のプロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」

の公式アイテムとして販売を開始。また、今年3月の大相撲大阪場所では、優勝力士の霧馬山に大阪知事賞の副賞として「イチビリコーラ」72本が贈呈された。

▲赤と緑の2本をセットしたギフトパッケージ。内容量200ml、賞味期限2年。1本1,800円(税別)。ラベルには大阪を代表する建造物、大阪城などが描かれている



▲「大阪産(もん)」のロゴマーク



▼催事でも「イチビリコーラ」をアピール

開発に携わった三輪茂雄商品仕入部長は、「我々は、ご当地商品や地域産品をギフト・贈り物として企画・提案しています。自社開発のご当地コーラ『イチビリコーラ』についても、2025年開催の大阪・関西万博に向けて、インバウンドをはじめ多くの方に、大阪を代表するコーラとして認知してもらいたいと考えています。近日中には、もっと手軽に飲んでもらうことを目的とした、炭酸飲料製品の発売を目指しています」と話す。